

新小学5年生受験クラスの入塾テストについて

すばる進学セミナーでは、小学4年生から受験を見据えた授業を行っております。そのため一般の公立小学校より、少しカリキュラムが進んでおります。その中でも5年生から入塾される方の中で苦勞することがあるのが、「小数同士のかけ算・割り算」です。小5の受験クラスの授業では「小数同士のかけ算・割り算」を1からやり直すカリキュラムを設けておりませんので、お子様によっては、これがかなりの負担になります。学習のスタートで「まわりの子はできているのに自分はできない」と感じることはお子様にとってとても大きな心の負担となります。「小数のかけ算・割り算」は、いずれだれもができるようになることですから、ここで自分は算数が苦手だと誤解しないでほしいです。

そこで、「小数同士のかけ算・割り算」だけは、入塾テストまでにご家庭である程度学習をしていただけますよう、お願いいたします。小数の割り算においては、「割り切れるまで」「あまりを出す」「四捨五入」等のバリエーションがありますが。入塾テストでは「割り切れるまで」のみ出題させていただきます。

その他の問題は、一般の公立小学4年生までの教科書を参考にさせていただきます。

以下、入塾テストの出題例を掲載いたします。

出題例

1 次の計算をなさい。

(1) $1.57 + 0.7$

(2) $43.7 - 5.88$

(3) 60.8×5

(4) 26.5×2.5

(5) $13 + 17 \times 8$

(6) $36 - (28 - 16) \div 3$

(7) $\frac{3}{13} + \frac{4}{13}$

(8) $83\frac{3}{7} - 82\frac{6}{7}$

2 次の割り算を割り切れるまでなさい。

(1) $5 \div 4$

(2) $0.48 \div 1.5$

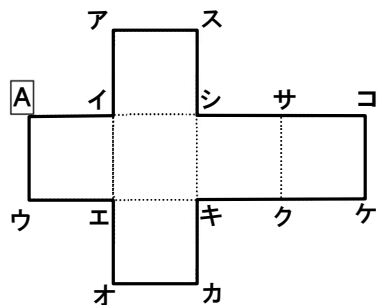
3 次の□にあてはまる数を答えなさい。

(1) $40 - (\square - 15) = 30$

(2) $42 \div (\square \div 3) = 7$

4 次の(1)と(2)の図は立方体の展開図になっています。それぞれの展開図を組み立てたとき、頂点Aと重なるものを頂点ア～スから(1)は2つ、(2)は1つ選びなさい。

(1)



(2)

